



手をつなごう、子どもたちのこころと

# ACC News Letter

危機の子どもたち・希望

April 2010



(於ヴルニャチカ・パニャ、セルビア 2010)

ACC ニュースレター第 24 号

ACC News Letter Vol.24

- ・「風の船」プログラム～あけの星学園訪問
- ・ほうこく・いろいろ
  - 「ともだち未来便」～カンボジア
- ACC スタディ・ツアー ～セルビア、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ
- 助成金報告



## あけの星学園訪問 ～セルビアから暖かい贈り物が届きました！～

### 報告

2月13日(土)都内の養護施設あけの星学園へ、セルビアの難民のおばあさんが園生に向けて制作したマフラーを届けに行きまして。あけの星学園とセルビアの難民のおばあさんとの交流は、「風の船」活動の一環として2年程前より行っています。以前には、おばあさん手作りの手袋やクッションを贈りました。今年は、寒い冬を風邪などひかずに乗り越えてほしいという気持ちも込めて、マフラーを選んだそうです。難民のおばあさんが作って下さった世界にひとつの手作りマフラーを、園生の皆さんはとても喜んでくれました。マフラーのお返しとして、難民のおばあさんへ宛てて書いてもらった自己紹介カードのメッセージ欄からも、マフラーが嬉しかった様子が伺えます。またこのメッセージ欄には、がんばって下さいといったおばあさんへの励ましの言葉も見られました。もらったマフラーを巻いて撮った写真を

貼ってくれた子もおり、このカードを見て喜ぶ難民のおばあさんの姿が容易に想像できます。後日、ACCメンバーが学習ボランティアで同園を訪れた際にも、「マフラーもう何度か学校にしていたよ！」「学校でセルビアのおばあさんの手作りのマフラーって自慢しちゃった！」「明日の旅行に持って行く！」等々、嬉しい声を頂きました。実際に会う事はできなくとも、セルビアのおばあさんが想いを込めて作ったマフラーから、おばあさんのぬくもりが伝わったのではないかと思います。あけの星の園生の皆さまとセルビアのおばあさんとのかけ橋になれたことを嬉しく思うと同時に、このつながりをたやさないようこれからもがんばっていきたくて強く思いました。

本年度もご協力下さったあけの星学園の皆さま、またセルビアの難民のおばあさんたちに心より御礼申し上げます。

(太田 繭子)

### 感想

「はい、おばあさんからのプレゼントだよ！」と、マフラーの入った袋を手渡すと、「どれー？かわいい！」とさっそく首に巻いてみる子、「ふうーん」とクールに振舞いながらもちらちら眺めている子、「いや、俺毛糸かゆくなるんっすよー」とか言いつつずーっと手に握りしめている子、色々な反応がありました。でも、おばあさんの作品は、いつもその場の雰囲気があったかくしてくれます。その後お礼のカードを書いたのですが、初めてあけの星に来た時よりもすらすらと、楽しそうに書いていたのが印象的でした。私たちと彼らが出会ってもう2年ですが、おばあさんたちと彼らも、おばあさんたちが一つ一つ真心を込めて作った作品とその温かみを通じて繋が

ってからもう1年半です。知らない誰かからもらうより、「あの人」の手作りのプレゼント・・・それは、やはりどこかで買ったお気に入りのマフラーとは違う温かさがあるものです。去年、おばあさんたちのクリスマスプレゼントのお礼に彼らが描いたカードを持ってセルビアに行った時、おばあさんたちは本当に自分たちの孫のように彼らを気遣い「どんな子なの？」

「どんな人生を送っているの？」と次から次へと尋ねてきました。そして「彼らによるしくね」「彼らが幸せになるように、神様に祈るわ」といって、お返しのカードを書いて託してくれました。あれから1年が経ちますが、次はその気持ちを編み物に込めて託してくれたんだなあと思います。



おばあさんのあったかい気持ちがみんなの巻いているマフラーからこぼれおちるようで、一段とあったかそうに見え、また彼らのほっこりとした笑顔が、私の心にまであたたかさを分けてくれました。

実は、私にとって、1年ぶりのあけの星学園訪問でした。一人、少し遅れて「緊張の面持ちで、みんなが職員さんのお話を聞いている月に一度のミーティング会場に入っていくと、「あー、めいちゃんだ、久しぶりー！」と、一人の女の子が声をかけてくれました。彼女は初めてあけの星に行ったところから、ACCのワークショップに心をこめて参加してくれる子です。

最近、ACCの活動になかなか参加できずにいた私ですが、私のことを覚えてくれていたこと、そして、Welcomeと受け止めてくれる彼女の笑顔がとても嬉しかったです。細く、でも強く長くACCの紡いだ糸は繋がっているんだなと思いました。そしてその繋がりに自分がとても助けられているという事実への気づきが心から嬉しかったです。私は彼女に「また来るね。」と言いました。次のワークショップを楽しみに、また毎日頑張りたいと思います。

(竹内 めい)

## ほうこく・いろいろ

### 「ともだち未来便」カンボジア行き

3月1日カンボジア王国バンテアイミンチュエイ州プントーチ村プレイトゥルテン小学校にて、「ともだち未来便 2009」の配布と交流活動を行ってきました。同校の児童数は260名、3教室、校舎1棟に掘建て小屋様の職員室兼物置があるだけの小さな学校です。近隣にあるポイターセク小学校の児童約200名がトラクター二台に分乗して来校、合わせて460名の児童と未就学児や高齢者を含む村の方々に、3名のACCスタッフが、日本人々の真心こもった「友情のプレゼント」を手渡して参りました(詳しいご報告は次号のニュースレターにて申し上げます)。

本年度は「ひろしま・祈りの石国際教育交流財団」の助成を受け、プノンペン市内の大型書店等で購入した、多数の児童書籍も届けることができました。こうした本との出会いが、支援物資の一つである教科書、また澄み切った青空の下で行った初めてのワークショップ体験とともに、僻地で教育環境には恵まれていない子ども達の、学びへの意欲、知ることの喜びなどを高めてくれたことと思います。

「ともだち未来便 2009」にご協力いただいたすべての皆さまに心より御礼を申し上げます。

### スタディ・ツアー ～セルビア、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ～

2月21日から3月4日にかけて、スタディ・ツアーを実施しました。5回のワークショップを通じ、また約400名の子ど

もたちとの出会いの中で貴重な体験をしてまいりました。詳細は次号に報告させていただきます。

### 天使とプレゼント 谷川俊太郎

なにがてんしからのおくりものか  
それをみわけることができるだろうか

はなでもなくほしでもなく  
おかしでもほがらかなころでもなく

それはたぶん  
このわたしたちじしん (詩のワークショップより)



## 助成金

「ひろしま・祈りの石国際教育交流財団」より、昨年度に引き続き ACC の「ともだち未来便」プロジェクトに対し、93 万円の助成金を頂きました。給付決定の知らせが届いたのはカンボジア訪問の前々日、現地パートナーNGO の COF と、僻地でさまざまな困難に直面しながら生活しているカンボジアの子どもたちの教育環境を

改善していくために、頂いた助成金をより有効に活かすべく協議を重ねました。新一年生への教科書支援、ニーズの高い児童図書支援の充実など、子どもたちの学びへの応援を可能にしてくださいました「ひろしま・祈りの石国際教育交流財団」関係者の皆さまに、心より御礼を申し上げます。

### ACC ホームページのご案内

ACC が行うプログラムごとの紹介や活動の近況報告、ACC メンバーによるエッセイなどを掲載しています。ぜひご覧ください。( <http://www.acc-japan.jp/> )

ACC の若手メンバー・ *Young Hopes* によるブログも更新中です。ACC での活動や日々の生活を通して感じることなど、メンバーの素顔がのぞけるページとなっております。ACC のトップページからも見ることができます。あわせてチェックしてみてください。

( <http://younghopes.exblog.jp/i2> )

### ご協力をお待ち申し上げます

会員として、継続的な支援ネットワークにご協力下さい。

個人会員	年会費	10,000
学生会員	年会費	2,000
子ども会員	年会費	1,000
法人会員	年会費	30,000 (円)

### 送り先

- 三菱東京 UFJ 銀行 恵比寿支店  
普通口座番号 1610158  
口座名 特定非営利活動法人  
危機の子どもたち・希望
- 郵便振替  
口座番号 00180-0-69004  
口座名 危機の子どもたち・希望

### 編集後記

カンボジア、セルビアと多くの子どもたちと会ってまいりました。毎年、子どもたちに出会うたびに、子どもが生来的に持っているパワーのすごさを感じます。そのパワーを萎えさせないようにするのが私たち大人の責任であり義務でもあるでしょう。ささやかな一歩、その積み重ねを淡々としていけたらと思います。

(内田 英子)

特定非営利活動法人  
ACC 危機の子どもたち・希望  
〒152-0031  
東京都目黒区中根 2-12-1  
K&K ビル 5F  
TEL/Fax 03-6459-5971  
E-mail [forhope@tkk.att.ne.jp](mailto:forhope@tkk.att.ne.jp)  
ホームページ <http://www.acc-japan.jp/>